

ポータルサイトに関する利用動向調査 (2011年2月) ～各ポータルサイトでユーザー属性に異なる傾向～

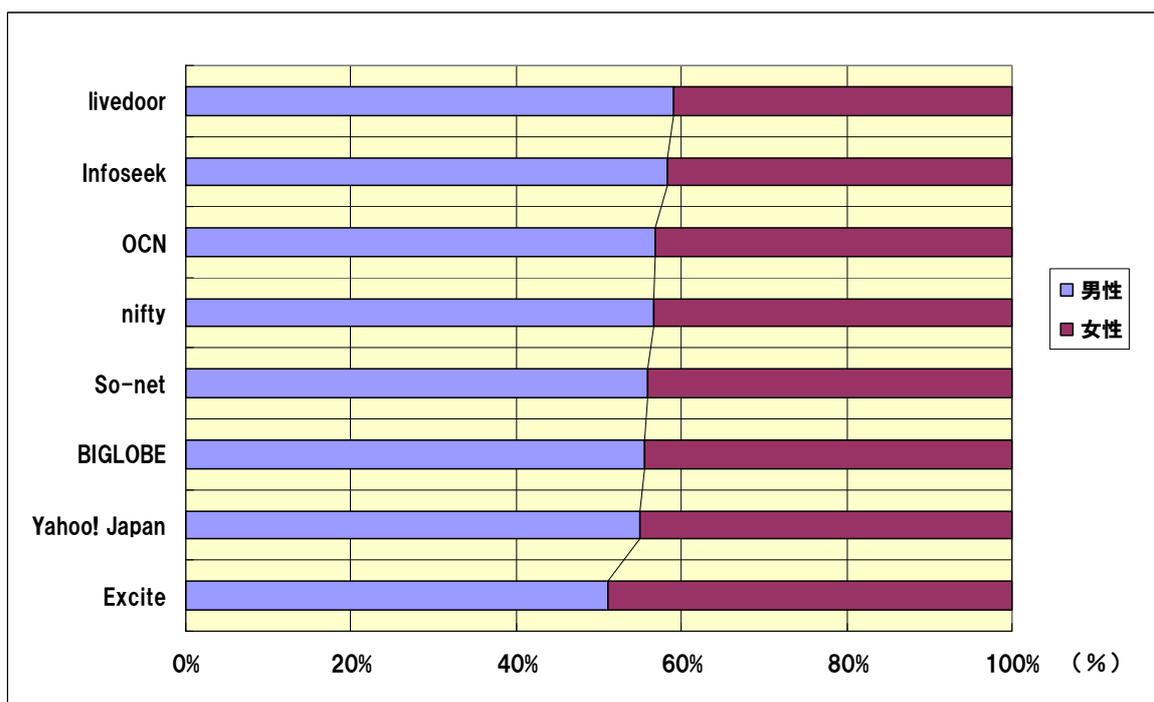
アジア圏を中心に、東京、沖縄、シンガポール、韓国、台湾、香港、タイの7拠点で展開し、戦略的なグローバルマーケティングを提供しているアウンコンサルティング株式会社（東証マザーズ：2459、本社：東京都文京区、代表取締役：信太明）は、このたび、コムスコア・ジャパン株式会社の正規販売代理店として日本におけるポータルサイトの利用動向に関する調査をまとめました。

調査結果

日本においてポータルサイトは最も利用者が多いオンラインサービスの一つであり、その利用者の多さゆえにユーザーの利用動向もインターネット全体の傾向を反映している業界といえます。しかしながら、コムスコア社が提供する2010年12月のデータによると、主要なポータルサイト間でも詳細において異なる傾向が見られる結果となりました。

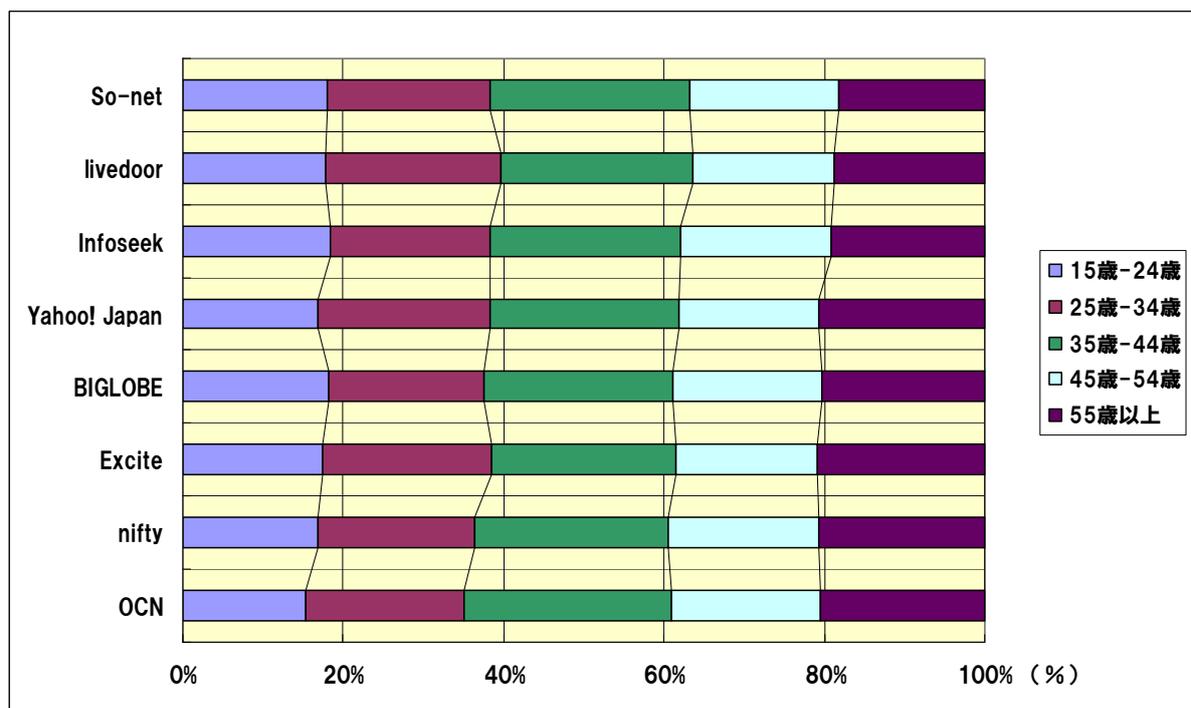
まず、主要ポータルサイト別の男女ユーザー数の比率を見ると、男性ユーザーの比率が最も高いのはlivedoorであり、来訪ユーザーの内59.1%を占めています。一方、女性の比率が最も高いポータルサイトはExciteで来訪ユーザーの48.8%を占めています。（図表1）。

図表1：主要ポータルサイト別 男女別ユーザー数比率



また、年代別では、34歳以下の若い年代を多く占めるポータルサイトはlivedoorであり、約40%を占めています。一方で、それ以上の年代だとOCN、niftyなどのプロバイダー系のポータルサイトが全体ユーザーの内多くの割合を占めています。(図表2)

図表2：主要ポータルサイト 年代別ユーザー数比率



出典：コムスコア / メディア・メトリックス (MMX) 2010年12月

ポータルサイトは幅広いコンテンツを取り揃え公共性が高いため、ユーザーの属性は幅広い年代で均一的に利用される傾向はあるが、そのユーザー属性を詳細に比較すると各ポータルサイトで異なる傾向が見えます。そして、それらの傾向は各ポータルサイトがユーザーに発信しているメッセージに即した差異といえ、ポータルサイトに限らずWebメディアにとって、一貫したメッセージを発信することと、そのメッセージがどのような差を生み出しているかの検証が重要となっています。

調査主旨及び要綱

【調査主旨】

日本国内における主要ポータルサイトの利用動向を調査

【調査要綱】

- データソース：コムスコア社が提供するインターネット視聴率データ、メディアメトリックス
- 調査方法：コムスコア社が保有する調査対象パネルのインターネット使用データを基とした統計予測
- 調査期間：2010年12月度集計

＜ポータルサイト定義＞

本調査においてインターネット上で検索サービス、リンク集及びその他のオンラインサービスを総合的に提供しているウェブサイトと定義します。

アウンコンサルティング株式会社

【事業内容】 アジア圏を中心としたグローバルマーケティング支援(多言語のウェブ制作・メディア運営・販促支援・翻訳)

【設立年月日】 1998年6月8日 【本社所在地】 東京都文京区後楽1-1-7 グラスシティ後楽2F

【代表者】 代表取締役 信太明 【資本金】 339,576千円 【会社 URL】 <http://www.auncon.co.jp>

【プレスリリースに関するお問合せ】 広報担当 渡辺 / TEL: 03-5803-2459 MAIL: pr@ auncon.co.jp

【調査に関するお問合せ】 担当 古川 / TEL: 03-5803-2777 MAIL: research@ auncon.co.jp